


寒さに胸を張ると、いつもと違う景色が広がっていませんか？

広報  花と緑と水のまち

# みまた

Mimata Public Relations No.414 2005.February

# 2

平成17年2月1日発行

## 特集

### 新成人に聞いてみました 今どきの目の付けどころ!?

新成人を迎えた人の若い目は「三股町」を  
どう捉えているのでしょうか。

### 公共下水道整備事業のお知らせ ますます充実! 快適環境

清潔で快適な環境をつくる下水道。  
一部の地域で使用できるようになります。





# 今どきの目の付けどころ!?

新成人の目に映る三股町

は知っていて、すぐ分かるから。米村 三股って誰も知らないから、やっぱり都城って言いますね。じゃあ、どつやつたらみんなが三股を知ってくれるかな? 小妻 都市は「焼酎」が有名だから、みんな知ってると思うんですけどね。だから三股もそういう特産物みたいなものを作ればいいんじゃないかな。今現在の三股って何が有名かな? 何が誇れると思う? 中藤 お茶! 音壁 図書館や文化会館。それを広めるためにはどつすればいいと思いますか? 中藤 テレビで広めるとか…。



# 今どきの目の付けどころ!?

新成人の目に映る三股町

「満二十年ヲ以テ成年トス」  
民法第3条に定められている成年。自立や自己責任など期待と不安を抱く20歳という節目に立つた人の目には『三股町』はどう映っているのでしょうか。

なるほど。  
『三股町』を斬る!  
今町の魅力について聞いたけど、「まご」がつくれるためには何が必要だと思えますか?  
迫田 人…ですかね。  
小妻 道具・資源とか…。  
資源がないまちは?  
米村 就職場所をつくる。  
今後三股町を皆さんが「ふるさと」として誇れるまちにするためには何をすればいいと思えますか?  
音壁 子どもを育成してもらええるようなまちづくりが大事だと思います。学校という場で働いていると、子ど

もたちのパワーをすごく感じるんですね。大人の世界は矛盾とか理屈が多いけど…。純粋な子どもたちを大事にする教育が必要だと思います。池之上 三股町の子どもの数は、県内でも上から数えたほうが早いというのを新聞で見ました。中学校も一つしかないから、やっぱり手の行き届かないところがあると思うので、教育の充実には同感です。  
迫田 これから三股町をつくっていくのは自分たちや自分たちより年下の人たちなので、子どもたちが参加したくなるようなイベントをしてもいいんじゃないかと思えます。一つにとどまってもいけないけど、「三股っていいよね」って言われるよう

な、子どもたちを育てていく場を設けたら少しずつ変わっていくんじゃないかなと思いますけど…。  
米村 子どもたちを育成して、もつと人を町に入れて、厚みのある三股になるんじゃないですかね。  
中藤 何年か先のことを考えれば町を担うのは今の20代、30代だと思うので、町の政治をしっかり見直してもらわないと、子どもにまで手が回らないんじゃないかと思えます。子育てもすごく大事だと思うけど…。  
小妻 三股は今のままでいい。変にいろいろ開発などをしてお金を無駄遣いするよりは、自然がいっぱいあるまち、のんびりなまちなままでいいと思います。  
なるほど。もし皆さんが今行政に携わるとしたら、例えば町長になったら何をすると思いますか?  
中藤 交通機関を充実させる。いろんな観光名所があるのに、車で行かなければならなかったり、1日に1本か2本しか出ないバスなどしかないんで、地元の人たちもあまり行かなかったんです。行ったことがないような観光地を、他県の人にアピールしろと言われても全然分らないわけですし…。  
小妻 私は福岡にいますけど、バスは市内だったからここまで行っても一人200円なんです。そういう

ある目を境に「今日から大人」と呼ばれる20歳。法律は「成人」と定め、周りも「大人」と認めます。しかし、本人たちは何が変わったのだろうか、本人たちは何が変わったのだろうかという疑問に思うかもしれません。今回は、三股町から外の世界に視野を広げ、あらゆる刺激を受けながら、「成人」への期待と不安を抱く20歳という節目に立つた6人、三股町へ思いを聞いてみました。  
果たして、若者の目に映る「三股町」はどんなものなのでしょうか。

皆さんほんとに学生さんですけど、将来「三股町」に帰ってきて、住みたいという気持ちはありますか?  
中藤 ないです。  
小妻 ないですね。  
どついつ?  
小妻 三股が嫌いというんじゃない、帰ってきて一緒に遊ぶ人がいないし、今の友達と会えなくなるからっていうのが強いです。  
中藤 うん。都会がいいって訳じゃないけど、「ふるさと」は田舎のほうがいいですね。  
県外の友達には堂々と自分の出身地を三股って言うんですけど…。  
迫田 三股って言うけど、相手が分からないときは都城の近くって言う。中藤 都城って言う。みんな都市市

ある目を境に「今日から大人」と呼ばれる20歳。法律は「成人」と定め、周りも「大人」と認めます。しかし、本人たちは何が変わったのだろうか、本人たちは何が変わったののだろうかという疑問に思うかもしれません。今回は、三股町から外の世界に視野を広げ、あらゆる刺激を受けながら、「成人」への期待と不安を抱く20歳という節目に立つた6人、三股町へ思いを聞いてみました。  
果たして、若者の目に映る「三股町」はどんなものなのでしょうか。



うのつてすこく便利。こっちのバスだと乗り換えしなないと行けないところもあるんですけど、そういうところを乗り換えしないで行けるような交通網を造りたいと思います。

米村 サービス業、交通機関の充実ですかね。

池之上 交通手段も確かに必要だと思っんですけど、人が行き交わないから交通手段も発達しないと思うので、みんなが来なくなる場所や、集まる場所、そうですね、例えば、遊園地みたいな規模の大きいものだったらとか、どこにでもはないものを設ければいいと思います。

迫田 『このイベントなら三股だよ』って言われるような三股ならではのイベントをするとか、都城の沖水である花火大会にはいろんな所から人が来るじゃないですか。『ふるさとまつり』もどう変えればいいのか、具体的なことは分からないですけど、ちょっと変えたらいろんな所から人が来るようになるんじゃないかな。

音堅 中学校を早くもうひとつ造ったほうがいいと思います。今の中学校を見てみると、教諭や講師の数も少ない現状らしく、不登校の子も多いと聞きます。やっぱりまだまだ学校現場とかそういうところが行き届いていないというか、充実していないのかな。人が来るように来

音堅 人の心がやさしいまち。

迫田 『家』って感じがします。自分たちの年代は都会にあこがれると思うんですけど、帰ってきたらホッとするって感じです。



参加してくれた皆さんは、こんなにもしっかりとした意見を持ってくださいました。

『新成人の目』という三股町。少なからず共感するものがあるかもしれません。それは若者と同じ視点を持っていることを意味しているのです。そこには『若者と年配者は考え方に壁がある』という固定観念を取り除く糸口があるのではないのでしょうか。

るようにというそういう発想も必要だとは思いますが、今の町民を大切に、一人ひとりに対する行政サービスを改めるべきだと思います。

自分がすべきこと

なるほどですね。先ほどもちは「人がつくるといふ意見が出ましたが、今度は町民の立場では自分は何をすべき、何が必要だと思いますか？」



中藤 私も今までいろいろな発言させてもらったんですけど、やっぱり何か発言するんだしたら、選挙に参加するとか、言われたこと、守るべきことをしっかりとしないとダメなと思います。自分の意見も通らないですからね。

音堅 選挙とか積極的に参加して、自分の声を届けていくことが絶対大事だと思います。

米村 町民からの立場ですか。三股ではボランティアでゴミの回収などをしていますよね。ボランティアで、例えば花を植えるとか。植物だけじゃないですけど、まちをもっときれいにして、町民が土台を作る。町民だけが盛り上げるといって盛りに上げていけるようにできればいいんじゃないかなと思います。

『最近の若者』が考えるまちづくり

三股町に対する6人の意見はどれも違うものばかり。中には「住むつもりはない」や「こうすべき」という厳しい意見もあります。しかしながら、幸い、6人が6人とも三股町に対するイメージは良いようです。それは一体なぜでしょう。それは若者に感じる『三股町の魅力』が存在するからです。

6人が感じた自然や人情、文化、生まれ育った「わがまちの魅力」をしっかりと肌で感じているのです。その思いがあるからこそ、町をもっと良くしたいという気持ちで、厳しい意見として表されるのです。人が集まり、表れるまちには、人を引きつける何かがあります。池之上さんが話した「どこにでもはないもの」も確かにその魅力の一つです。大きなテーマパークなどがあれば、間違いなく人は集まるでしょう。

「魅力」があります。「あのまちは人情味溢れて良かった」と旅人に思われたまちは、もうそこで「魅力」を持っていると言えます。そのまちに住む人にしか分からない



必要だと思います。こみを拾うとか、小さなことでもいいから少しずつでも行動すれば、すこくいいと思う。ありがたいございました。最後に皆さん一人ひとりの立場で三股町をひと言で表すと何ですか？

小妻 宮崎駿のアニメでできそうなまち（自然が多いまち）。  
米村 ジャンカ馬！（笑）。  
池之上 ふるさと……とかですかね。  
中藤 ゆるいまち……。いい意味で（ゆるやか、おだやかなまち）。

い「住みやすい」もまたしかり。まちに住む人々にとっては、それこそ「どこにでもはないもの」なのです。そして、そういった魅力を伸ばすことができれば、行政はもろろんのこと、そこに住む、そのまちの魅力を知る人々なのです。

6人の町に対するイメージは、どれもふるさとに思いをはせるような言葉ばかりです。若者たちには、町民の温かさが確実に伝わっていると感じずにはいられません。「まちは人がつくる」ということを幼いころから肌で感じているのです。

迫田さんの『このイベントなら三股だよ』と言われるようなものを」という意見に隠されている。今何ができるのか、という柔軟さ。6人の意見には、若者特有の素直さとエネルギーが所々に表れていて、若者には若者の目の付けどころがあるように思えます。

若者と中高年者を俗に「最近の若者」と「昔の人」という言葉で分けられて使われますが、「今」といつかに存在するならば、若い若きもすべて「今の人」。そう考えれば、三股町は2万4000の「今の人」がつくっていくのです。

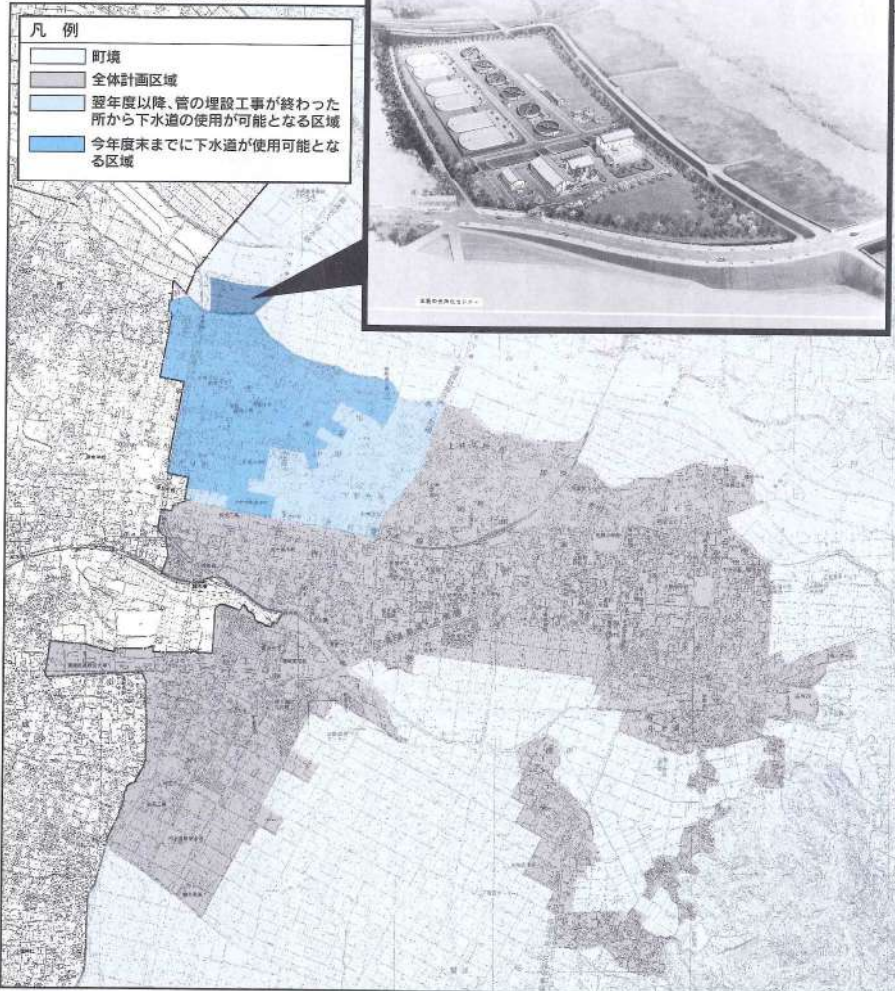


## 宅内設備工事

公共下水道を利用していただくためには、家庭や事業所などの排水管を公共マスに接続する工事が必要となります。この工事が正しく行われないと、排水管が詰まったり、悪臭が発生したりします。このようなことがないように、工事は必ず指定工事店に依頼してください。指定工事店は基準に合った排水設備工事を行うために必要な技術を習得していますので、安心して工事を任せることができるように町が指定しているものです。



図1.三股町公共下水道事業計画図



問い合わせ 都市計画課 ☎52-1111(内線342)

## 公共下水道が一部の地域で使用できるようになります。

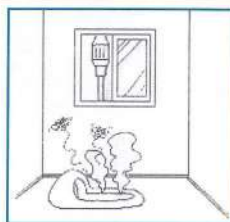
町では、河川・水路などの公共用水域の保全と快適な生活環境を作り出すために、公共下水道事業を町の重要政策の一つと掲げ、平成9年度から取り組んでいます。

今年度末、今市橋南側に建設中の『三股中央浄化センター』の一部完成に伴い、下水道管の埋設が終った地域(図1)は下水道が使用可能となります。下水道は町民の皆さんの深い理解と協力が大切です。力を合わせてさわやかな生活環境を作りましょう。

### 下水道の役割

下水道が整備されると、私たちが日常生活で使った水やし尿は、「汚水」として下水道管に流れ、下水処理場に集められて浄化されます。そして、再び河川などに戻されます。このため、トイレの水洗化をはじめ、道路側溝などに汚水がたまらないので、蚊やハエなどの発生を防ぎ、清潔で快適な生活環境が確保されます。また、河川、湖、海などの公共用水域をきれいにする水質保全の役割を担っており、水環境をよみがえらせる働きをしています。

### 下水道のない暮らし



トイレが  
水洗化  
されます。

### 下水道のある暮らし



生活環境の  
改善が  
図られます。



### 下水道の使用料

下水道使用料金は、汚水をきれいな水に処理するためや、下水道施設を清掃するための経費として、利用者に負担していただきます。上水道を利用している家庭では、上水道の使用水量をもとに計算します。上水道以外の水を使用している場合は、1人が1カ月当たり使用する水量を認定水量として、家族の人数に応じて計算します。計測装置が設置されている場合は、計測された水量をもとに計算します。

### 受益者負担金

下水道施設は、道路や公園のように一般の公共施設と違って、整備することによって利用できる地域の人々が限られてきます。

このため、下水道の建設費を町費などの税金だけで賄うことにすると、下水道の恩恵を受けない人たちにまで負担を掛けることになり、公平な負担の原則に反することになります。そこで下水道の建設費の一部を下水道整備によって利益を受ける人たちに負担していただくことで、より一層の下水道整備促進を図ろうというのが都市計画法に基づく「受益者負担金」の制度です。また、この負担金は、税金などとは異なり、一度きりの賦課となります。







■ まちの話題 ■

374人が大人の仲間入り  
自立を誓う成人式



文化会館で開催

平成17年成人式が、1月5日、文化会館ホールで開催されました。今年の新成人者は374人（男性188人、女性186人）で、うち288人（男性139人、女性149人）が出席しました。

式では新成人の池之下吉己さん（神田）が先導役を務め全員で町民憲章を朗読した後、桑畑町長が代表の園田空也さん（長田）と音堅直子さん（夢池）の2人に成人証書を授与。桑畑町長は式辞で「自覚と誇りをもち、プラス思考で失敗を恐れずチャレンジしてほしい」と激励しました。続いて、迫田奈緒美さん（仲町）が「私の夢の実現のために」と題して意見発表を行いました。「剣道と高校3

年生の時に参加した海外派遣事業の体験から社会全体を見る目や感謝の心を養うことができました。悔いのないよう、さまざまなことに挑戦し、自分らしい生きかたを見つけた」と力強い決意を述べました。

その後「20年間の思い出」と題し、中学校時代の懐かしい写真を中心に振り返るスライドが上映されました。当時流行した音楽や中学校時代の恩師からのビデオレターも盛り込まれ大きな歓声が上がっていました。

式典後、会場の外では写真を撮り合ったり連絡先を交換したりするなど、華やかな雰囲気の中、再会を喜び合う光景が見られました。



再会を喜びあう



代表2人に成人証書を授与



迫田奈緒美さんが新成人の決意を発表

またこの日の午後、成人式を終えた三股中学校時代の野球部（平成11年度卒20人）は、田上涼平さん（当時の主将）の呼び掛けで、三股中グラウンドに当時のメンバー16人と中野克洋監督、大橋秀人顧問が集まり、野球を楽しみました。

当時のメンバーで集まるのは高校卒業時以来2度目。今回は監督と顧問のチームに別れて、中学時代を懐かしみました。

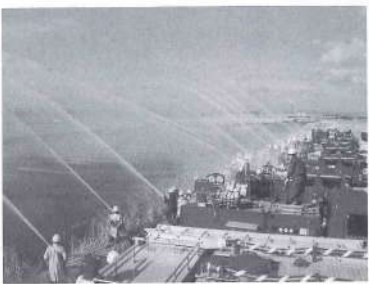
中野さんは「この同窓生は特にみんなの仲が良く、助け合っていたことを思い出します。中学時代の良さを持ったまま戻りた成人人になってほしい」と当時を振り返りました。

また、田上さんは「5年後も10年後も事あることに続けていければ」と話しました。



中学校当時の野球部のメンバー。みんな大人の顔になった

気迫と見事な規律  
「消防出初式」



見事な放水を披露

団員丸となり

平成17年の新春を飾る三股町消防出初式は、1月9日、岩下橋下流の河川敷で開かれました。

団員の士気の高揚と消防技術の向上を目的に、町と町消防団（中村修一団長・160人）が共催で、毎年実施しているものです。

当日は式典に先立ち、消防車両14台によって、役場から会場までパレードが行われました。

式典では桑畑町長が点検長となり、機動本部から第7部までの各部の服装や規律、器具の整備状況、放水の所用時間などを審査。また11の保育園で組織される「幼年消防クラブ」がかわいい放水を行ったほか、業務に長年功績のあった団員や家族、退

職者などの表彰も行われました。厳肅な中に消防団の気迫と見事な規律を感じさせる式となりました。

出初式点検の結果

1位/第2部 2位/第4部  
3位/第3部

受賞者（敬称略）

【真知事表彰】朝倉勝昭  
【県消防協会会長表彰（精進章）】里岡広志、上水幸一郎、白尾知之（内助の功）、西村里美（機動本部部長夫人）、岩崎真弓（1ラッパ隊長夫人）  
【真消防協会都支部長表彰】（部）第6部尾上勇蔵以下23人（団員）下西善久、中村浩一、堂領善満、原口あつ子

【町長表彰（総部）】岩崎龍郎（一般）  
飯屋正一、原田一成、福田博昭、銅倉祐三、溝口則広、坂元博、内村介貞、下沖博秋、坂元智紀（永年勲  
続団員家族）東富美子（第1部部長夫人）、瀧尾由紀子（第1部班長夫人）、吉留章子（第1部団員夫人）

【消防庁長官表彰】（退職報償）銀釜受賞）原田満（前副団長）、川野浩（前第1部団員、川上佳浩（前ラッパ隊長員）

【団長表彰】（一般団員）高畑雅樹、鈴木貴、木場康彰、原田武明、飛松誠一、松元竜二、出水学、福島謙次、福丸安男、金倉光幸、永井博行、嘉藤一春、山元栄二、有村いずみ

【都城地区農業共済組合長表彰】（最優秀賞）第4部（優秀賞）第1部、第5部



消防車両14台がパレード



出初め式点検1位、第2部



幼年消防クラブの指揮者、福田峻馬くん

子どもは地域で育てよう  
学区を越えた交流活動



12月19日、町地域教育推進会議（月野健一郎会長）主催による、三股町地域合同体験活動が町勤労者体育センターで開催されました。

「地域の子どもは地域で育てよう」と毎年各学校区でそれぞれの体験活動を行っていましたが、地域団体間の協力体制の強化や異地域間の世代間交流を図るため、今回初めて町内全域を対象にこの合同活動を開催。しめ縄や門松、たこ作りなどの体験活動に町内小中学校の生徒ら合わせて108人が参加し、学区を越えた交流を深めました。

月野会長は「一人との関わりを肌で感じ、思いやりのある大人に育ってほしい」と話しました。



みんな集まれ~!!

# なんでも町査隊!



このページは、皆さんが日ごろ「知りたい」と思っていることを町民の皆さんに教えてもらうというページです。あなたの知りたいことを町内の皆さんに聞いてみましょう!

## 今月の依頼

### 町内のミニバレーなどのクラブチームを教えてください!

学生時代はスポーツをしていました。現在主婦ですが、何かスポーツをしたいと思っています。町内にはどんなスポーツクラブチームがあるのでしょうか?  
植木/さっちゃんさん

楽しみながら汗を流すって、体にも心にもいいですね。「生涯スポーツ」に出合って、生きいきした生活を送りたいですね。

- ①ミニバレー 20チーム
- ②ミニバレー 4チーム
- ③バドミントン 2チーム
- ④卓球 2チーム
- ⑤グラウンドゴルフ 16チーム
- ⑥陸上 1チーム
- ⑦ソフトテニス 1チーム
- ⑧剣道 1チーム
- ⑨バレーボール 7チーム
- ⑩四半的弓道 1チーム
- ⑪ゲートボール 11チーム
- ⑫空手 1チーム
- ⑬硬式テニス 10チーム
- ⑭ベタテニス 1チーム
- ⑮ソフトボール 3チーム
- ⑯軟式野球 2チーム
- ⑰弓道 1チーム

聞いてびっくり!? 町内のスポーツクラブチームは、なんと17種

★掲載したい記事を皆さま、誠にありがとうございます。誠にありがとうございました。

**80人出席**  
年始恒例の新春懇談会は、1月13日に開かれ、議員や自治公民館長、民主団体の代表など約80人が出席しました。

桑畑町長は「町民の暮らしに密着した事業に継続して積極的に取り組みたい」と年頭の抱負を述べました。続いて宮崎中央新聞社編集長の水谷謙人さん(宮崎市)が「取材の現場から心に残ったいい話ベスト10」と題し記念講演。水谷氏は取材を通して話の中で「男性と女性の根本的な違い」をお互いが理解し合うことが大切と指摘。「男性と女性が共に仲良くまちをつくっていきましょ」と話しました。出席者は水谷氏の軽快な口調に聞き入っていました。



新春懇談会  
「取材の現場から」講演も

**昭和35年度卒の118人**  
1月14日、昭和35年度卒業の第14回三股中学校卒業生が、還暦の記念として同中学校(内村修校長・95歳)に金一封を寄付しました。

同窓会実行委員会の荒武公治さん(上新出身)が発起人となり、還暦に記念になるものを残そうと、当時の同窓生に母校への寄付を呼び掛けたところ、118人が賛同。この日同実行委員会の余吾和康さん(山王原出身)と中村勝義さん(谷出身)が同校を訪れ、内村校長に「母校の生徒のために使ってください」と金一封を手渡しました。

内村校長は「有効に使わせていただきたい。図書室に記念文庫を設置したい」と話しました。



三股中卒業生  
還暦記念に母校に寄付

**99歳の「芸術家」を内閣府が顕彰**  
神田地区在住の松田トメさん(99)が、「エイジレス章」を受章しました。これは、自由で生き生きとした人生を送っている高齢者に、内閣府から毎年贈られるものです。

松田さんは79歳のとき、都城市の祝吉地区公民館で開かれた和紙ちぎり絵教室に参加。以来、20年間趣味としてちぎり絵を続けてきました。

1日2時間ほどの繊細な作業をこつこつと行い、これまで大作を含め、200点ほどの作品を作りました。

現在は、今年予定している白寿展を目標に制作に取り組んでいます。

松田さんは「今では生きがい。好きなことをして賞をもらったのはうれしい」と笑顔で話しました。



趣味の和紙ちぎり絵で  
いきいきライフ

**消防団第5部**  
12月5日から1月23日まで、消防団第5部(朝倉勝昭部長・15人)によって、第5地区公民館前の広葉塔がイルミネーションで彩られました。

これは、毎年消防団が年末に火災予防や防犯のために夜間啓発活動を行うこともあいまって、地域の活性化と防災意識の向上を目的に、朝倉部長が発案。団員の賛同を受けて、平成13年から実施しています。

イルミネーションの中央には「火の用心」と大きく書かれ、通行する人の目を引いています。

朝倉部長は「こういった活動を通して、若い人たちにも消防への理解を広げていきたい」と話しました。



イルミネーションで  
「火の用心」

## 次回の依頼は... 『わが家の節約術』を教えてください!

こんにちは! 私はい外食に頼ってしまったり、食材を買うにも余計なお金がかかってしまったりして、毎月の食費がかさんでしまいます。皆さんはどのようにして節約をしているのでしょうか? 食費だけでなく、こんな節約法があります! っていうものもぜひ教えてください!  
???/ayusan

## 依頼人募集!!

あなたの知りたいことを募集します。なんでも結構です!

## 町査隊員募集!!

依頼人の知りたいことについてご存知の人は教えてください! どちらもはがきや封書、FAXまたはEメールで!

〒889-1995 総務課内 なんでも町査隊係  
TEL.52-1111 内線222 FAX.52-4944  
kouhou-k@town.mimata.miyazaki.jp  
あて先

町査隊員の情報は  
2月14日必着!



■会場・問い合わせ 三股町健康管理センター  
☎52-8481 郵52-1056

## 4月1日から、6か月以上のBCG接種は有料化

4歳未満の場合、3月末日までは無料で受けられます。まだ受けていないお子さんは計画的にBCG接種を受けるようにしましょう。

## 2・3月の行事

### ●リズムウォーキング教室

■期日＝2月21日(月)  
■時間＝午前11時～正午  
※ストレッチや「歩く」動作を中心とした運動を1時間程度行います。

### ●赤ちゃん健診

■期日＝3月4日(金)  
■受付＝午後1時15分～1時45分

### ●すくすく教室

■期日＝3月2日(水)  
■時間＝午前9時30分～10時30分

### ●1歳6か月児健診

■期日＝3月10日(木)  
■受付＝午後1時～1時30分

### ●3歳児健診

※3歳6か月～7か月児が対象  
■期日＝3月16日(水)  
■受付＝午後1時～1時30分

### ●親子ふれあい教室

■期日＝3月11日(金)  
■受付＝午前10時～11時30分  
■内容＝ふれあい遊び  
■対象＝生後6か月～4歳の乳幼児とお母さん(保護者)  
■定員＝40組(定員になり次第締め切り)

※水分補給のためお茶や水を持参してください(おやつは食べられません)/動きやすい服装で参加してください

### 2/1～7は生活習慣病予防週間

### 『めぞう健康長寿、見直そう生活習慣』

現在取り組まれている、健康日本21では「健康寿命の延伸」をはかり、生活の質の向上を実現することを目指しています。

「健康寿命」とは、認知症(痴呆症)や寝たきりなど介護を必要とする状態に陥らず、自立した生活を送ることのできる期間のことです。寝たきりなどの原因は生活習慣病が多く、その発症には名前のおり食生活や運動などの生活習慣が深く関わっています。

健康長寿を目指して、日ごろの生活を見直し、よくない「くせ」をよい「習慣」に変えていきましょう。

### 健康づくりのための休養指針⑩ 【出会いとくすなから豊かな人生を】

1)見いだそう、楽しく無理のない社会参加

社会参加に積極的に関与して、さまざまなコミュニケーションを図っていくことも、能動的な休養の大切な要素です。無理のない楽しい参加を。

### ◆地域に望むことを自己実現

少子高齢社会の今日、近所同士の助け合いがより重要になるのではないのでしょうか。それは地域に望むことを自分からすすんで実践することです。

### ◆身近なことから社会参加

社会参加の第一歩は顔を覚えて、あいさつすること。日常生活の中から少しずつコミュニケーションづくりを。

休養「休」は心身の疲労の回復をめざした受動的で静的な部分。「養」はさまざまな活動を通して生きがいやライフスタイルの創造を行う能動的で活動的かつ独自性の高い部分です。

## みんなでつくる健康づくり計画-その2- 地区座談会で町の皆さんの考えを聞きました

町は、子どもから高齢者まで町民一人ひとりが健やかで心豊かに生活できる三股町にするため、「三股町健康づくり計画(仮称)」を策定します。

策定に伴い座談会を開催し、①「あなたの健康な状態とはどんなときだと思いますか?」、②「どうすればその状態(①)になれるか(近づけますか)?」、③「②を実践するにあたって、町に取り組んでほしいことはなんですか」の3つの質問について参加者から意見を募りました。

今回は、「どうすれば健康な状態になれるか(近づけますか)?」という質問に座談会で町民の皆さんから出

された意見を紹介します。

### 【座談会参加者の意見】

#### ◆健康な状態「食事がおいしい」

便通をよくする/バランスのよい食事/毎朝コップ一杯の水を飲む/体を動かす/汗をかく/決まった時間に食事をし間食しない/体操する

#### ◆健康な状態「体が軽いとき」

早寝早起きをする/体調を整えて無理のない運動をする/体重を量る/歩くこと/腹八分の食事

#### ◆健康な状態「悩みがないこと」

ストレスをためない・発散する/よく寝ること/趣味を持つ/時間のやりくりをする/定期的に病院受診して安

心する

#### ◆健康な状態「笑顔でいられるとき」

あいさつする/趣味を楽しむ/体の悪いところを治す/いろいろな会話を持つ/家族でゆっくりと過ごす

この質問では、①「健康な状態」になる(近づく)ために、自分(個人)で取り組める方法について聞いています。

「健康な状態」は人それぞれ異なっていますがそこに近づける方法には共通するものがあったり、お互いに影響しあっていることが分かります。

今回は③「実践するにあたって、町に取り組んでほしいことはなんですか?」についての意見です。

■問い合わせ 三股町役場福祉保健課  
☎52-1111(代) 郵52-4944(代)

## 「宮崎ねんりんピック2005」の選手募集について

### ●高齢者福祉係(内線162)

5月15日(日)～16日(月)に、「宮崎ねんりんピック2005」が都城市、三股町、山之口町、山田町(1市3町)で開催されます。

大会の参加者(主として60歳以上の県民が対象)を募集します。

参加申し込み(多数の場合は、抽選になります)の方法や競技方法などの詳しい内容は、役場福祉保健課または県福祉事務所パンフレットを設置していますので、競技種目ごとの募集要項をご覧ください。

### ■競技種目＝

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ターゲット・バードゴルフ、グランドゴルフ、インディアカ、バウンドテニス、ミニバレーボール、ソフトバレーボール、ミニテニス、弓道、剣道、なぎなた、ボウリング、太極拳、四半の弓道、囲碁、将棋

### ■募集期間＝

2月1日(火)～2月28日(月)

### ■申込手続き＝

役場福祉保健課 高齢者福祉係  
☎52-1111(内線162)

### ■問い合わせ

じゅびあ財団  
☎0985-31-9630

## 「平成16年度じゅびあ講演会」のおしらせについて

### ●高齢者福祉係(内線162)

#### ■目的＝

浜松医科大学名誉教授としての研究活動をはじめ、数多くの講演活動をしている高田先生のお話を聞くことにより、高齢者の生きがい健康づくりの一助を目的とします。

■後援＝都城市(予定)

#### ■主催＝

(財)みやざき長寿社会推進機構

(愛称:じゅびあ財団)

■日時＝3月5日(土)

午後1時30分～3時15分

■場所＝都城市市民会館 ☎23-3511

■講師＝高田明和 氏

浜松医科大学名誉教授

■演題＝「脳は若返る」

■参加料＝無料

■申込締切＝2月25日(金)

■申込先＝

じゅびあ財団  
☎0985-31-9630

## 「介護ボランティア養成講座」の受講生募集について

### ●町社会福祉協議会(☎52-1246)

#### ■目的＝

介護を必要としている人に、介護保険で対応できない部分をボランティアで手伝えるようなグループづくりのきっかけとなり、また介護の心得、技術を学び、家庭でも生かせることができるようになることを目的としています。

#### ■内容＝

1日目:2月17日(木)  
ボランティア導入・介護保険の仕組みなど  
2日目:2月22日(火)  
介護の心得・ケアの内容など  
3日目:2月24日(木)  
簡単な介護実習など

■時間＝午前9時30分～12時00分

※いずれの日も同じ時間帯です。

■場所＝町老人福祉センター

■参加対象者＝

介護やボランティアに関心のある人

■参加定員＝20人

■主催＝町社会福祉協議会

■申込＝町社会福祉協議会へ2月10日(木)まで

#### ■問い合わせ

社会福祉協議会 ☎52-1246  
Fax 52-8194

■問い合わせ 三股町役場税務課  
☎52-1111(代) 郵52-4944(代)

## 2月28日(月)は納付期限です

### ●納税管理係(内線145・146)

納付期限内に納付しましょう。

### ●固定資産税(4期)

### ●国民健康保険税(8期)

※口座振替は2月25日(金)が振替日です。再振替は行っていません。24日(木)までに預貯金口座の残高確認をお願いします。

残高不足などで振替ができなかった場合は、その納期分の納付書を送付しますので、納付書で納めてください。

## 町民税申告のお知らせ

### ●住民税係(内線144・147)

平成16年分申告を2月14日(月)から3月15日(火)まで受け付けます(土、日は除きます)。申告日時や場所などについては、「1月15日付回覧」で配布していますので、参照ください。

### ◎申告が必要な人

- ・平成17年1月1日現在、町内に住所のある人(申告が必要でない人は除く)
- ・給与所得以外に所得(農業所得・不動産所得等)がある人
- ・非課税所得(遺族年金・雇用保険金など)のある人および収入のまったくない人(所得証明・非課税証明や国民健康保険税などの算定上必要です)

### ◎申告が必要でない人

- ・所得税の確定申告書を税務署に提出する人
- ・所得が給与のみで、年末調整がされている人(勤務先から町に給与支払報告書が提出されている人)
- ・所得が公的年金のみで、65歳以上で年金収入額が228万円以下の人(扶養控除などの申告をする場合、保険満期、土地売買のあった人などは除く)

**町税の納付は「安心・便利・確実」な口座振替のご利用を!**  
この社会 あなたの税が  
いきている



■問い合わせ 三股町役場 ☎52-1111(代) 52-4944

平成17年度臨時職員(パートなどの登録募集について 町臨時職員(免許・資格所持者を含む)の登録者募集

町では、役場に勤務する臨時職員(パートなど)または、下記の免許や資格をお持ちで、免許や資格を生かした職種への就労を希望する人の登録を募集しています。

臨時職員は、事前に登録していただいた人の中から選考採用しています。

希望する人は、市販の履歴書に必要事項を記入の上、総務課人事係まで提出してください。

◎一般事務補助の臨時職員

■募集条件＝  
18歳以上で、パソコン操作のできる人(ただし、学生は不可)

■勤務条件等＝  
◆雇用期間 おおむね6ヶ月以内、または1年間契約雇用  
◆勤務時間 毎週月曜～金曜(祝祭日除く)の午前10時～午後4時まで(5時間)または午前8時30分～午後5時まで

◎免許・資格保持の臨時職員  
■免許・資格＝  
①保育士 ②看護師・准看護師  
③保健師 ④介護支援専門員  
⑤調理師 ⑥栄養士および管理栄養士  
⑦図書館司書

※登録は臨時的に資格や免許保持者が必要になった場合に就労していただくためのものです。登録により必ずしも雇用されるとは限りません。

■問い合わせ・履歴書提出  
総務課人事係  
☎52-1111(内線222)

新潟県中越地震で被災された方々への義援金受け付けにつきましては、役場での受け付けのほかに、町内の金融機関窓口や「ふるさとまつり」のイベント会場で行い、多くの皆さまにご協力いただきありがとうございます。

1月12日までに、皆さまから寄せられた新潟県中越地震義援金は、562,987円でした。

皆さまからお預かりしました義援金につきましては、日本赤十字社三股分区分・日本赤十字社新潟県支部を通じまして、義援金受付団体を主として構成されている義援金配分委員会より被災地へお届けし、被災者の方々へお渡しいただきます。

被災された皆さまの1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

■内訳＝  
役場ロビー、ほか町内の金融機関窓口等

三股幼稚園	121,733円
三股町更生保護女性会	25,050円
三股町仲町壮年会	82,000円
三股町老人クラブ連合会	10,614円
蓼池耆老会	300,000円
NPO法人うえりんぐセンター	10,000円
	13,590円

■問い合わせ  
総務課行政係  
☎52-1111(内線224)

小中学校入学式

平成17年度小中学校の入学式は、小学校4月8日、中学校4月7日です

平成17年度の小中学校の入学式は、次のとおりです。

◎小学校  
■入学式期日＝4月8日(金)  
■入学予定者＝平成10年4月2日～平成11年4月1日の間に生まれた者

◎中学校  
■入学式期日＝4月7日(木)  
■入学予定者＝平成4年4月2日～平成5年4月1日の間に生まれた者  
※対象家庭には2月上旬から「入学通知書」

を郵送します。  
次の場合は、教育委員会学校教育課までお知らせください。

- ・2月下旬になっても入学通知書が届かない
  - ・町外への転出予定
  - ・国立および私立小・中学校へ入学予定
- ※「入学通知書」は入学式当日に必要です。紛失しないようご注意ください。

■問い合わせ・連絡先  
教育委員会学校教育課  
☎52-1111(内線423)

「アスリートタウン」三股一チャレンジRUN&ウォーキング大会

町民なら誰でも参加できるイベントです。持久走、ウォーキングに挑戦してみませんか?

「チャレンジRUN」は、ジョギング感覚でも参加できる距離を設定しました。自分に合った距離を楽しんでください。

「ウォーキング」は、年代にあったコースを設定しました。三股の自然あふれる景色を肌で感じてみませんか?

■期日＝3月13日(日)  
■場所＝三股町ふれあい中央広場(スタート・ゴール地点)

■内容＝  
チャレンジRUN

◆距離・対象者  
1.0\*。小学生(1、2、3年生)、親と小学生以下の子ども(ファミリー)

1.5\*。小学生(4、5、6年生)・一般  
3.0\*。中学生・高校生・一般  
5.0\*。中学生・高校生・29歳以下・30歳代・40歳代・50歳代・60歳以上

10.0\*。29歳以下・30歳代・40歳代・50歳代・60歳以上

ウォーキング  
※雨天の場合は、武道体育館でレクリエーションを実施します。

◆コース・対象者  
てくてくコース

…ゆっくり楽しみたい人  
スタート～上米公園～ゴール(約4.0\*。)

※小学3年生以下の参加については保護者同伴とします。

すたすたコース  
…ゆっくり遠くへ足を伸ばしたい人

スタート～三股中学校グラウンド～矢ヶ淵公園～クリーンヒル三股～ゴール(約8.5\*。)

■参加料＝  
チャレンジRUN

小・中・高校生 500円  
一般(大学生含む) 1,000円  
親と小学生以下 1,500円

ウォーキング  
1人 500円(未就学児は無料)

■申込＝  
申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて申し込むか、郵便振込を利用してください。

■申込締切＝  
2月10日(金)～期日厳守～  
※参加者全員を対象にお楽しみ抽選会を実施。豚汁の振る舞いもあります。

■問い合わせ  
生涯学習課社会体育係(中央公民館内)  
☎52-1111(内線191・194)  
健康管理センター  
☎52-8481

※宮崎県最低賃金は、業種などに関係なく、パートタイマー、アルバイトなどを含むすべての労働者に適用されます。

■問い合わせ  
宮崎労働局 賃金室  
☎0985-38-8836

通信制高校 県立宮崎東高等学校通信制生徒の募集

通信制の高等学校です。希望する方は次の要領を申し込んでください。

■募集人員＝300人(転編入を含む)

■学習方法＝自宅でのレポート作成を中心とする「自学自習」が原則。また月2回のスクーリング実施。

■特色＝15～60歳までの多様な生徒が在籍。3年で卒業も可能。

■資格＝中学卒業または同程度の学力を有する者

■出願期間＝3月2日～29日

■選抜検査＝  
出願書類と面接により選考

■転編入学＝  
新入学とは別日程で募集。作文、面接あり。

詳細はお問い合わせください。

■問い合わせ  
宮崎東高等学校通信制  
☎0985-27-7794

きりしまんぢだ

●山之口町/  
第52回人形浄瑠璃定期公演

■日時＝3月20日(日)午後2時開演  
■場所＝人形の館(269号線沿い)  
☎57-5295

■演目＝「三番叟(娘手踊り)」、「出世景清一大仏殿普請の段(ちゆのたて)」、「出世景清一阿古屋住家の段(つくりぶん)」、間狂言「大世間話一馬泥棒弥右衛門」

■入場料＝(定期公演時)大人710円、高校生510円、小中学生310円

■問い合わせ  
山之口町社会教育課  
☎57-3111

●高城町/  
第8回さくらフェスタジョギング高城

■日時＝3月27日(日)雨天決行  
午前8時受付 午前9時45分スタート

■場所＝高城町総合運動公園  
■種目＝  
ウォーキングの部 6\*、2\*、  
ジョギングの部 15\*、10\*、  
5\*、3\*

■申込・問い合わせ  
さくらフェスタジョギング高城事務局  
☎58-2317

●愛の献血●

ご協力ありがとうございます。

10月～12月の協力団体・人数  
都城農業協同組合三股支所 10人  
さつきライオンズクラブ 82人

●愛のご寄付●

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。

誠にありがとうございます。

三股町社会福祉協議会  
平成16年12月1日から31日まで

寄付者	続柄	故人名	年齢	地区	金額
西田	サエ	夫	高義 84	今市	3万円
水元	弘見	母	シヅ 84	長田	5万円
横川	エイ子	夫	正則 78	山王原	3万円
岡野	裕博	母	久子 77	蓼池	3万円
濱田	トミ子	夫	純尚 83	花見原	5万円
児玉	覚	母	イク 88	勝岡	3万円
中石	高男	母	シモ 96	上米	10万円
佐澤	勲	母	スミ 91	下新	3万円
高木	ハル子	夫	一男 82	梶山	3万円
財部	イツ	夫	幸雄 85	山王原	10万円
兒玉	泰男	母	羊子 86	東京在住	5万円
高妻	博司	母	トミエ 83	大野	5万円
大久保	健次	母	キヨ 82	上米	2万円
神宮司	菜穂	妻	ヨシエ 90	山王原	3万円

「新潟県中越地震」災害義援金のお礼







# 昏睡

人類史に想いを馳せる二人芝居7編からなるオムニバス、各編を全国各地で製作し統合する一大コラボレーション!

【眼り】につく7組の男女が登場する二人芝居の連鎖…それは中心のない世界地図か、書かれなかった歴史書か。劇団こぶく劇場、永山智行氏が描いた現代の神話に、各地でリーダーシップを発揮する俊英の演出家たちが挑む、日本を横断する現代演劇の冒険が始まる!



永山 智行 (こぶく劇場・巻頭) 倉迫 康史 (Ort-d.d 東京・富田) 自由 下僕 (POP THEATRE R・福井) 泊 篤志 (鳥羽劇場・北九州) 森本 孝文 (家CRES・徳島)



こぶく劇場のあべゆらも上元千穂も出演! 全員を囲みます。

## ■創作ネットワーク委員会とは

宮崎市出身の演出家、倉迫康史を代表に、永山智行、自由下僕、泊篤志、森本孝文といった全国各地の俊英演出家によるネットワーク組織。東京国際芸術祭リージョナルシアター・シリーズやこまばアゴラ劇場でのサミット、利賀フェスティバルなどで出会い、交流を重ねてきた5人が、「地域同士の連携による演劇界と地域文化の活性化」を目指し結成。

**2/15(火) 開演 午後7時30分** (開場は開演の30分前)

■チケット 一般/2,000円 高校生以下/1,500円

※全席自由 ※未就学児の入場はご遠慮ください

# 中国の響きと ソプラノのしらべ



## 二胡・揚琴 ほか 趙正達

中国オペラ院所属。三弦や二胡をはじめ、中国国内でも演奏できる人は珍しいほどの楽器「揚琴」や、少数民族楽器「フルス」や「ハーウー」なども弾きこなす名手。

1979年天津芸術学院附属中等芸術学校卒業。1980年中国歌劇舞劇院民族楽団入団。同楽団にて副団長を務める。オペラ「彼女を救って」「賀龍の死」「紅樓夢」等で三弦、中阮などの楽器を担当。1991年、党中央、全国人大、文化部を代表して「チベット平和解放40周年の慰問公演」を行い文化部より第一回「チョモランマ優秀出演者賞」を授けられる。日中合作オペラ「徐福の伝説」では楽隊の演出も担当。また多くのテレビドラマ、歌曲、音楽作品の録音にも参加。二胡や三弦をはじめ、様々な楽器を弾きこなすことから、「中国民族楽器の王」と称される。



## ソプラノ 東由子(ひがしよしこ)

都城京ヶ丘高校を卒業後、東京芸術大学声楽科を経て同大学院修了。1988~90年、ウィーンに留学しドイツ各地で演奏会に出演。帰国後、都城市を拠点に演奏活動を展開している。帰国以来、一貫して行う「歌と語りのコンサート」は、初めてクラシックを聴く人にはもろろん、子どもから大人まで幅広い年代に好評を得ている。2000年7月、子育て支援グループ「ジョイナス」でCD「ちいれにれ〜世界の子守唄」をリリース。



## ピアノ 吉野 紀子(よしののりこ)

宮崎大学教育学部特音課程作曲科卒業。同専攻科作曲専攻終了。サルツブルグモーツァルト音楽院作曲科に学ぶ。05年日本作曲家協議会アンデパンダンに東由子氏の演奏で「ウォカリーズ」出品(東京)。九州を中心に演奏活動、作曲活動を展開。現在、日本作曲家協議会、九州作曲家協会会員、伊達バレエ団専属ピアニスト、ローランド指導スタッフ。

**3月11日(金) 開演午後7時**  
(開場は開演の30分前です。)

■チケット 一般/1,700円 高校生以下/800円  
ペア(一般2人)/3,000円  
※全席自由 ※未就学児の入場はご遠慮ください